

Q1 預金の状況について教えてください

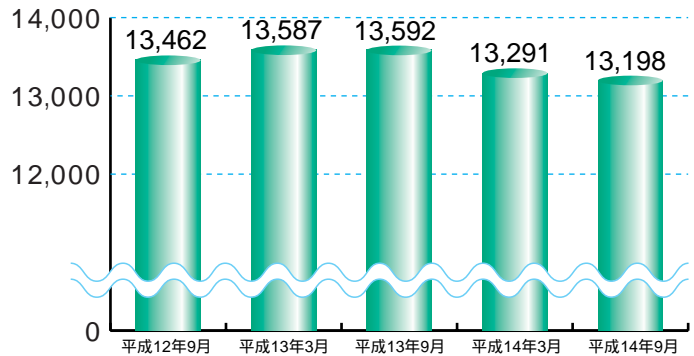
A 個人部門は安定、法人部門は低調に推移

預金は、流動性預金、定期性預金ともに増加し、銀行勘定の期末残高は期中65億円増加して1兆2,286億円となりました。合同運用指定金銭信託は、低金利の継続等の要因から期中159億円減少の912億円となり、銀行・信託勘定合計残高では期中93億円減少して1兆3,198億円となりました。

部門別では、景気低迷の影響で、法人等の預金は減少しましたが、全体の約7割を占める個人部門は、期中60億円の増加となり、安定して推移しました。

預金残高(末残)の推移

単位：億円



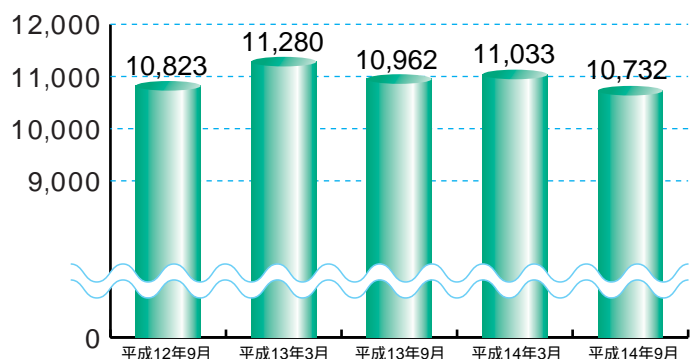
Q2 貸出金の状況について教えてください

A 個人部門は堅調なものの事業性資金は低調

貸出金は、個人部門は住宅ローンを中心に増加しましたが、景気低迷の長期化による事業性資金の需要減少や季節要因(年度下期に製造業、建設業や地方公共団体を中心に資金需要が発生し、年度上期は貸出金が返済されるという季節パターン)などから、銀行勘定の期末残高は期中227億円減少し1兆33億円、信託貸出については期中73億円減少し699億円となりました。銀行・信託勘定合計残高では期中300億円減少し1兆732億円となりました。

貸出残高(末残)の推移

単位：億円



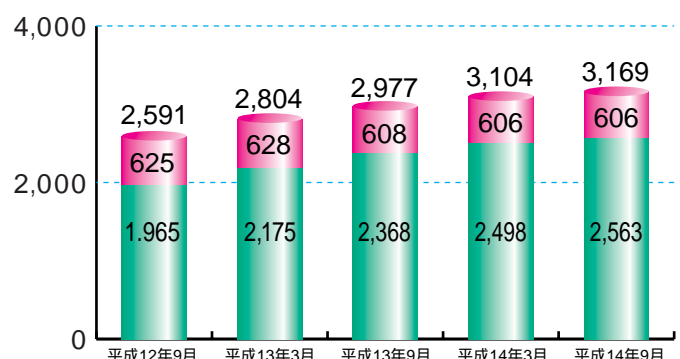
Q3 個人ローンの状況について教えてください

A 個人ローンは、引き続き順調に増加

りゅうぎんは、「ローンならりゅうぎん」というブランドイメージの確立を目指して、積極的にローンを推進しています。主力の住宅ローンは期中65億円増加し、引き続き順調に推移しました。その他個人ローンについては、「給振フリーローン」の発売に加え、「ガン保障特約付の住宅ローン」や郵送だけで融資手続きが完結する「ポストでローン」など特色ある商品を県内金融機関で初めて発売し、商品の充実にも努めました。

個人ローン残高(末残)の推移

単位：億円
 ■ その他個人ローン
 ■ 住宅ローン



(注)グラフ上の値は各項目とも切り捨てて表示しており、合計と一致しません。